

## 資料 1

### 令和 4 年度上半期 村上市立図書館の活動評価

[基本評価]

#### ①利用状況(上半期)

項目	3 年度 上段：総 数 下段：上半期	4 年度 上半期	協議会評価	備考	増減 (%)
入館者数(人)	91,650 47,052	46,247	B	中央館のみ	-1.7
個人貸出冊数(冊)	139,386 70,061	68,378	C		-2.4
貸出人数(人)	33,898 17,102	16,783	B		-1.9
予約件数(人)	13,174 6,365	6,714	A		5.5
新規登録者数(人)	499 262	247	C	[内訳] 中央194朝日17 荒川21・神林2・山北13	-5.7
登録者数(人)	16,796 16,556	17,046	A		3.0
インターネット端末利用数(件)	1,453 833	648	D	中央館のみ	-22.2
開館日数(日)	290 151	150	/	中央館のみ	-0.7
郷土資料受入点数(点)	148 80	106	AA		32.5

#### ②管理運営費(各年度の予算額)

(単位：千円)

項目	2 年度予算	3 年度予算	4 年度予算	備考
中央図書館経費	17,538	18,024	17,952	
地区図書館・分室経費	1,050	1,050	1,050	
(うち資料費)	(1,000)	(1,000)	(1,000)	
図書館ネットワーク等経費	42,215	41,182	41,771	
(うち資料費)	(7,500)	(7,500)	(7,500)	

[重点事項評価]

重点事項 1

読書バリアフリー法に基づく読書環境整備の推進

○重点事項達成に係る事業 : 図書館資料整備事業

《事業概要》

障害の有無に関わらず、全ての市民が等しく読書を通じて文字・活字文化の恩恵を受けられるよう、視覚障害者等の読書環境の整備の推進を図る。

《事業実績》

①点字資料、大活字本のほか、新たにLLブックを蔵書に取り入れ、読書バリアフリー法に関する特別展示コーナーで紹介。さらに、市報に朗読CDの蔵書を掲載するなど、広く利用者へ周知し、誰もが等しく利用できる環境整備に努めた。

【読書バリアフリー関連蔵書冊数】

点字資料 124冊、大活字本 1,635冊、朗読CD 419タイトル、音声デジター 109タイトル、LLブック 25冊、音が出る絵本・手話絵本 17冊

《協議会における事業評価》

事業	評価	評価理由
①	A	利用者ニーズに沿った資料の選書、充実を図っている。

《今後の課題・方向性》

- ・読書環境整備を推進するための必要な予算確保
- ・電子書籍の導入について
- ・出版が希少な布絵本の充実
- ・サービス人材の育成

○重点事項達成に係る事業 : 図書館ネットワーク等事業

《事業概要》

さんぽく会館竣工にあたり山北図書室の読書環境の整備と、それぞれの地域ニーズをとらえた地区図書室の資料整備を図る。

《事業実績》

①山北図書室の開館にあたり、室内の利用しやすい導線の確保や書架の配置、読み聞かせコーナーでの幼児の利用を想定したユニバーサルデザイン。さらに、全ての資料を確認し、経年劣化した資料の除籍を進めるとともに新刊図書を整備を図った。

《協議会における事業評価》

事業	評価	評価理由
①	A	さんぽく会館の改修工事を終え、新装された図書室の室内環境を整備することで、さらに読書への関心が高まり多くの利用につげるための取り組みを図った。

《今後の課題・方向性》

- ・地域ニーズに沿った資料の選書・購入に係る予算確保
- ・村上市子ども読書活動推進計画に基づいた児童書の実備